

環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)

閣僚共同声明(仮訳)

2025年5月16日 韓国・済州

2025年5月16日、豪州、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、英国及びベトナムの閣僚及び代表は、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)の締約国として、韓国・済州にて会合を行った。

我々は、国際貿易環境が現在直面している重要な諸課題について議論した。我々はまた、CPTPPが経済統合の促進や、我々の経済の繁栄を支える上で主要な役割を果たしている、自由で、開かれた、透明で、包摂的で、ルールに基づく貿易システムへの共通のコミットメントを再確認した。我々は、協定が高い水準であり、新たな課題に対処するという目的に適うものであり続けることを確保するという参加国の取組に留意した。

我々は、「持続可能な貿易及び強靱な成長の実現」というテーマの下で議長が掲げた2025年の3つの分野横断的な優先事項、すなわち、より深い統合を通じて貿易を増加させること、実施を改善し、プロセスを合理化することによって貿易を円滑にすること及びCPTPPが我々の国民及びビジネスの包摂的かつ持続可能な成長を支えることを確保するために貿易の利益を広めることを歓迎した。

我々は、一般見直しに関する継続的な進捗に留意した。我々は、2024年11月のバンクーバーでのTPP委員会において承認された勧告(「バンクーバー声明」)を想起し、昨年のカナダの管理の下で進められた包括的な評価を認識した。この作業を基に、我々は、実務者に対し、電子商取引、金融サービス、サプライチェーンの強靱化、バリューチェーン、税関当局及び貿易円滑化、国境を越えるサービスの貿易並びに事務事項管理を含め、2025年のTPP委員会の前に加えられる追加の勧告と共に、必要な部分について、CPTPPを更新し、及び強化するための勧告を作成するよう指示した。

我々は、オークランド原則に従って、CPTPPの継続的な拡大の重要性について議論し、コスタリカの加入手続における進捗を歓迎した。我々は、残りの加入要請に関する議論を適時に前進させるというコミットメントを確認した。我々は引き続き、オークランド原則を満たすことのできるエコノミーの加入申請を歓迎する。

世界経済情勢上の増加している諸課題を考慮し、我々は、貿易及び投資に関する共通の利益を促進し、並びに世界経済構造におけるCPTPPの役割を強化するためにバンクーバー声明において特定された貿易投資イニシアチブを前進させるための継続中の議論を歓迎した。我々は、2025年に可及的速やかに欧州連合(EU)及び東南アジア諸国連合(ASEAN)との対話に向けた作業を進めることを決定し、高級実務者に対し、これらの取組の詳細を適時に詰めるよう指示した。